

合格者のみなさんへ

獨協大学経済学部へようこそ！

若い時の4年間はとても貴重です。人生の後半になって振り返った時に、「つまらない4年間だった」と嘆くのではなく、「あの時は自分なりに頑張った」、「充実した楽しい学生生活だった」と心から言えるようにしてください。それを決めるのは誰でしょう？今、そこにいる皆さん一人一人に他なりません。皆さんにとって獨協大学経済学部で過ごす4年間が充実した、有意義なものになることを切に願います。

どうすれば、充実した学生生活を送れるのでしょうか。獨協大学は、「学問を通じた人間形成」を掲げています。私は、「人間形成」とは「人として大事な価値観、ものの考え方を身につけること」だと思います。

学びは大学時代だけで完結するものではありません。生きている間は学びつづけなければなりません。少なくとも、定年までの40数年は学び続けなければなりません。そうでないと、世の中についてゆけないのです。学びは一生続き、人間形成も一生続くのです。大学は、その基礎を築くところです。獨協大学の経済学部では、2年生から4年生までの3年間、演習(ゼミナール)を履修することになっています。自分のやりたい研究テーマを選び、自分の専門分野を確立してほしいと思います。

また、学びとは、大学の授業を聞いて単位をとることだけではありません。多くの人の話を聞き、またさまざまなジャンルの本を読んで、いろいろな考え方につれて、部活動で目標を設定して頑張る、資格取得に励む、どれも大変有効な学びの方法だと思います。留学して、外国の同世代と話してみるのも良いでしょう。経済学部では、テーマを設定し、グループでプレゼンテーションをする「プレゼンテーション・コンテスト」の場を設けています。こうしたことが、人を育てるのです。人間形成に役立つのです。経済学部には、皆さんを応援する仕組みがたくさんあります。

このようにして養われる基礎力があって、自信を持って社会に羽ばたいていけるのだと考えております。

2026年2月

獨協大学経済学部長 塩田尚樹

獨協大学経済学部 推奨パソコンについて

獨協大学経済学部合格者の皆さん、入学準備は進んでいますか。

現在、大学生にとってパソコンは筆記具と同じくらい必要不可欠な道具となっています。しかし、筆記具にも鉛筆から高級万年筆までさまざまな種類があるように、パソコンも用途に応じて多種多様なものが販売されています。大学生になったからといって全員がすぐに高級なパソコンを必要とするわけではありません。自分が何をするのか、どんな作業をしたいのかをよく考え、目的や用途に応じて適切なパソコンを選んでください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止や GIGA スクール構想の影響もあり、入学時に自分のパソコンを持参する学生が増えました。スマートフォンで授業を受けるのは非常に厳しくお勧めできませんが、大学 1 年生の間は、高校で使用していた機器やキーボード付きタブレットでも、ある程度は問題なく対応できます。しかし、2 年生になるとゼミが始まり、3 年生からは本格的に専門科目が始まります。ほとんどの場合、一般的な性能のパソコンで問題ありませんが、選択した専門分野によって必要となるソフトや機器が異なってくることも念頭にいれ、購入計画をたててください。

購入の際には、次ページに記載してある「PC 購入時のチェックポイント」を参考にしてください。レポート作成やウェブ検索などの一般的な作業に必要なスペックを挙げています。専門的な研究、イラスト制作、動画編集、ゲーム開発などを行う場合は、より高性能なパソコンが必要になる可能性がありますのでご注意下さい。

何を購入すればよいか迷った場合、獨協大学では毎年、新入生向けに 4 年間の学生生活で使用できるパソコンを推奨し、販売しています。保険も付いており、故障や破損時の手厚い保証があるため、参考にしてください。

ノート PC は、操作性に影響するキーボードを取り換えることができません。できればキータッチが自分に合っているか、自分が持ち運べる重さか、店頭で触れて確認してください。購入の際は学割価格を選択できる機種も多くありますので、Web サイトや店頭で確認してください。

PC 購入時のチェックポイント (CPU, メモリ, ストレージ, 重量など)

PCを購入する場合、大学生活で無理なく使うには メモリ8GB以上、ストレージ256GB以上 が必要です。

1. **CPU** 1つ1つのプログラムの実行速度を決定します。

- Core-i7 のように同じ製品名でも、世代（発売した時期）が変わると性能が大きく変わります。
- Intel 製なら Core i5、AMD 製なら Ryzen 5 以上が一般的です。

2. **メモリ** 同時に実行できるプログラムの数に影響します。

- メモリが 4GB など少ない場合、ソフトによっては動作が極端に遅くなります。
- 容量は 8GB が一般的です。

3. **ストレージ** ソフトやデータを置く領域の容量と速度を決定します。

- 現在は SSD が一般的で、容量は 256GB あれば通常は問題ありません。
- 64GB のように少ない場合、講義で使う様々なソフトをインストールできない可能性があります。

4. **液晶** Web を見るときや、文章を書く際に表示できる情報の量を決定します。

- 14型、フルHD (1920×1080 ピクセル) が一般的です。但し、液晶サイズが大きくなれば重量も増えますのでご注意ください。
- 1366×768 ピクセルのように、縦方向のピクセル数が少ないと表示できる文字が少なく、文章全体を見づらくなり編集が難しくなります。

5. **重量** 1.2Kg 以内であれば、毎日持ち運んでもさほど苦にはなりません。

- 液晶サイズが 14 インチであれば 1.2Kg 程度となりますが、15 インチになると重くなります。
- 普段は iPad などを持ち運び、PC は家で使うのであれば 15 インチのほうが画面が大きく良いかもしれません。

6. **Microsoft Office** Microsoft Office(Word, Excel など)は必要はありません。

- 獨協大学が教育機関向けライセンスプログラム Microsoft 365 Apps for enterprise(略して Microsoft365)を Microsoft 社と契約しているため、大学在籍中は Microsoft Office を無償で利用することができます。

よろしくお願ひいたします。

2025年12月4日
獨協大学経済学部長
塩田尚樹